



『最高の蒲生野中学校』を引き継ぐ

3月13日(木)に卒業式があり、3年生は卒業してしまいました。それから約10日。今日は、1・2年生の修了式。令和6年度が終了しました。

今年度を振り返ってみると、1年生は入学式からスタートし、初めての中学校生活を1年1組の34名で過ごしてきました。入学当初は小学校ごとのグループが中心だったように思いましたが、先日行われた学年球技大会では、男女の仲が良く集団としてのまとまりも高まってきたように感じました。

この学年で特に印象に残っているのは、防災の探究学習です。関西大学さんとの活動を中心に、砂防ボランティア協会さんや自衛隊さんそして石井食品さんにもお世話になり探究学習を進めました。この学習を通して、考える力や工夫する力、伝える力、そして「防災の主体者としての意識」が育ちました。

また3月10日(月)の3年生を送る会では、心のこもった素晴らしい発表ができていました。いつでも後輩を迎えられる力が付いてきていると思っています。

2年生は、2学期頃までは、個人の力は着実に付いてきていましたが、集団としての力は不安を残していました。しかし、12月13日(金)の職場体験学習のまとめ発表会や2月14日(金)の「京丹波町のお土産を考える」ワークショップ等を通して急速に一体感を高め、3年生を送る会では、先生方の力を借りず、ほぼ全て自分たちの力だけでやり切れるところまで到達し、不安な気持ちをきれいに吹き飛ばしてくれました。

3月17日(月)に開催された百人一首大会は、文化委員会を中心に1・2年生合同で開催され、1年生は楽しみながら、2年生は1年生を気遣いながらも楽しんで、とても良い雰囲気で行われている姿が見られ、学校としてのまとまりを感じました。

新年度には、初めて後輩を迎える現1年生と最上級生として蒲生野中学校を引っ張っていく現2年生。学校として新入生を気持ちよく迎えて「最高の令和7年度のスタートダッシュ」が切れるようにして欲しいと思っています。みんなを頼りにしています。よろしく頼みます。

本年度最後の学校だよりになります。保護者の皆様には、この一年間、本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。春休みは、子どもとのコミュニケーションを可能な限り取っていただきますようお願いいたします。

来年度も引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

校長 人見 平安

3年生を送る会

